

環境にやさしい生活セミナー ～「買う」「使う」「捨てる」を考えよう～

みんなでごみを減らそう！

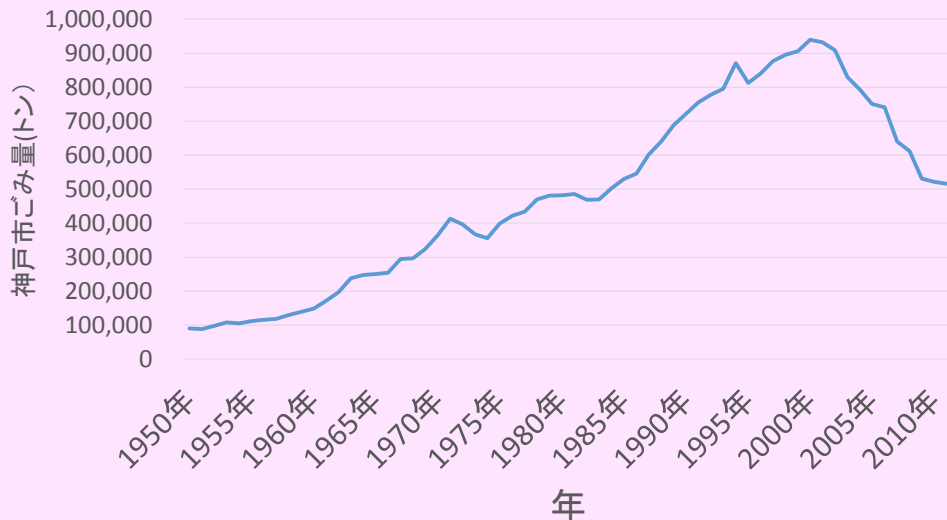
2014/02/06
グランデはがくれ(佐賀市)

神戸大学大学院経済学研究科 教授
特定非営利活動法人ごみじゃぱん 代表理事
石川雅紀

内容

1. ごみ問題
2. 燃えるごみ減らそうトライやる
意識すればごみは減らせる！ 神戸市民1,000人の大実験
3. 減装ショッピング
無理なくごみを減らす消費者の力
4. 食品リサイクル法
もったいない、こんなに捨ててる！

ごみ問題：神戸市のごみ量

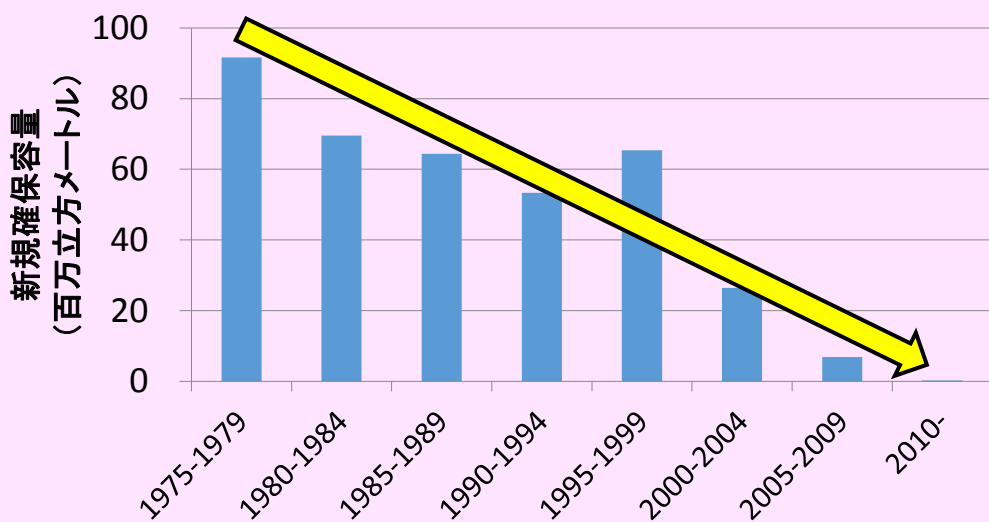


2014/02/06

©NPO法人ごみじゃぼん

3

埋立開始年度別総容量



2014/02/06

©NPO法人ごみじゃぼん

4

日本のリサイクル率の実績

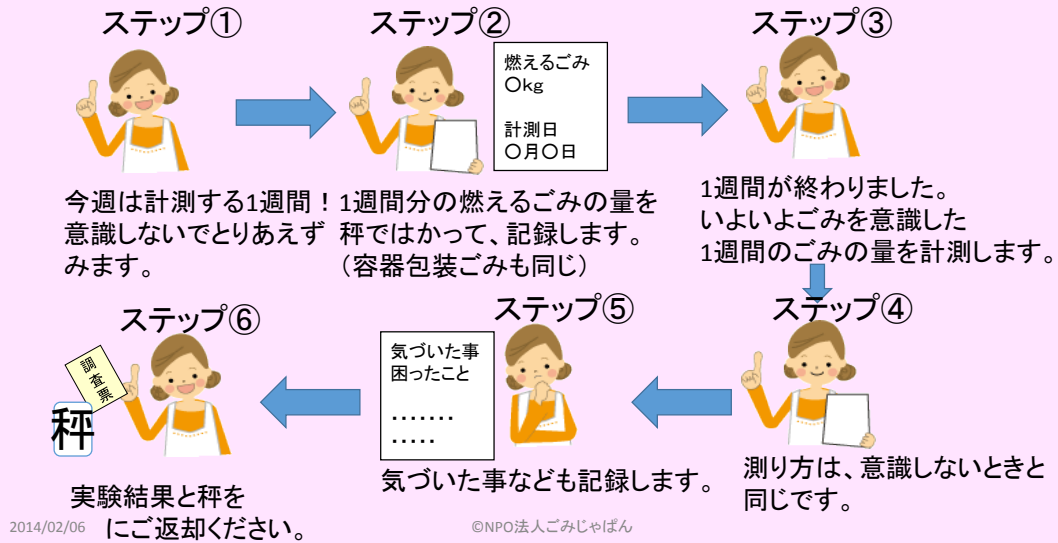
ガラス	68.1%	リサイクル	2012
スチール缶	90.4%	リサイクル率	2012
アルミ缶	94.7%	リサイクル率	2012
プラスチック製包装	40.6%	再資源化率	2011
PET	79.6%	回収率	2011
紙製容器			
飲料用	32.5%	回収率	2011
その他用	23.0%	回収率	2011
段ボール	99.3%	回収率	2010

減そう生活実験

目的

- ・意識するとごみを減らせるのか？
- ・自分にできることを見つける。
- ・気づきを集めて共有する。

減そう生活の実施イメージ



こうして計ります



2014/02/06



©NPO法人ごみじゃぼん

8

減らそう生活

1. 2011年11月 神戸市北区
110世帯 2週間 プラ包装ごみ+燃えるごみ
2. 2013年 2月 大垣市
92世帯 2週間 プラ包装ごみ+燃えるごみ
3. 2013年 7,8月 神戸市
914世帯 2ヶ月 燃えるごみ

2014/02/06

©NPO法人ごみじゃぼん

9

燃えるごみ減らそう生活:結果

	意識しない生活	減らそう生活	削減量
燃えるごみ量 (kg/人・月)	10.15	7.76	2.39

参加世帯数:914世帯、実験完走(報告)世帯:677世帯

燃えるごみ削減率 23.5%

2014/02/06

©NPO法人ごみじゃぼん

10

もしも、全市民が参加したとすると...

燃えるごみ(家庭系)2012年(269,705トン)の23.5%
が減ったとすると...

63,380トンのごみが減ります。

これに、2010年の神戸市の平均ごみ処理費用
39,885円/トンを掛けると**約25億円**となります。

2014/02/06

©NPO法人ごみじゃぼん

11

減らそう生活実験の結果

～みなさんの気づき～

「この期間以降も雑紙の分別を家族にも頼んで気をつけるようにしたが、紙にビニールが混在したものも多く、作成側でシンプルにしてもらうことがよいと思う。」

「紙類が多いと思った。食品を買いすぎている。」

「畑に穴をほって埋めることができる物があつた。」

「ダンボールコンポストをしたり、プラゴミをリサイクルにまわすことでゴミはかなり減ってきている。」

2014/02/06

©NPO法人ごみじゃぼん

12

減装ショッピングとは？

お買い物のとき、容器包装が少ない商品
（＝減装（へらそう）商品）を買っていただく事で、ごみを減らしていこうという運動です。

活動を実施している店舗で、このマークのついた商品を買っていただくと、ごみを減らすことができます！



2014/02/06

©NPO法人ごみじゃぼん

13

包装に関する事業者と生活者の認識ギャップ

事業者

- ・包装をセールスポイントにしない事業者
包装はあくまで付属品
クレームが出ないように

消費者

- ・包装とは「商品を包む事」と思う消費者
買う時にごみなる事を考えない
ごみを出すときに腹が立つ

2014/02/06

©NPO法人ごみじゃぼん

14

消費者に
購買の瞬間に容器包装の少ない商品を知らせる



事業者
容器包装の少ない商品が売れることを知らせる

Gomi-jp
発生抑制の概念モデル

⑤社会課題の解決モデルとなる

④市場の多くの商品の包装が簡易になる

③メーカーが簡易な包装を選択する

②消費者が簡易な包装の商品を選択する

①消費者が簡易な包装の価値を認める

購買の瞬間に包装ごみを意識する

簡易包装商品が売れない理由

買う時にごみの事まで
思いが至らない

ではどうするか?

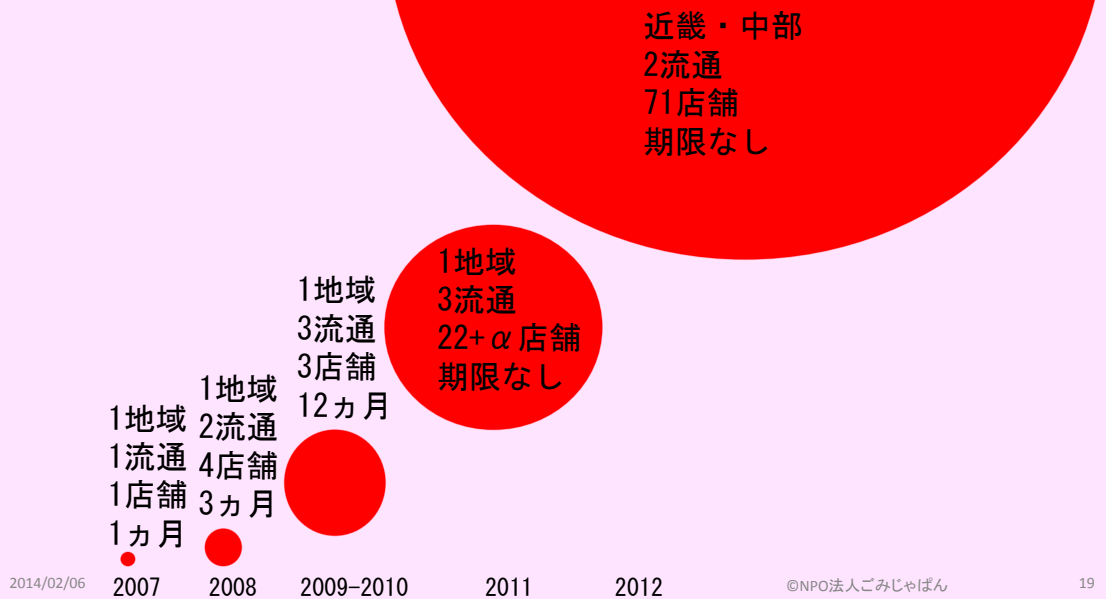
生活者側の対策

- ・ ごみ問題を自分事化する
- ・ ごみ問題をより深く理解する

事業者側の対策

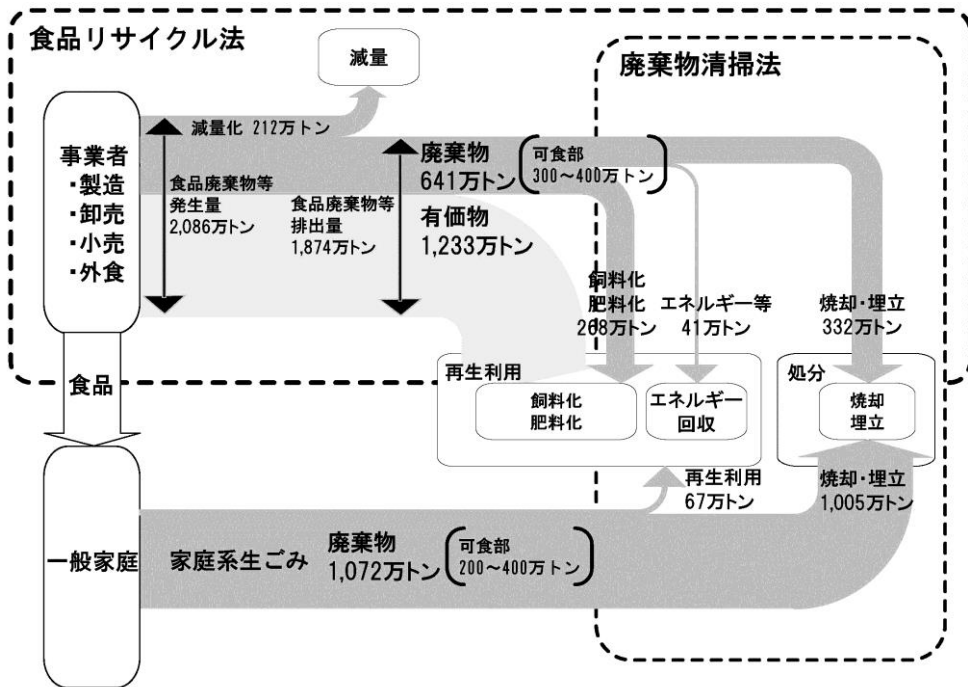
- ・ 商品棚で包装ごみの情報を提示
- ・ 包装を簡易化する。

拡大する事業規模



捨てられる食品と食料

- ・世界で生産された食料のうち、生産から消費の段階で1/3の13億トンが捨てられている。
- ・途上国では、ポストハーベストロス
生産から加工までの間に失われる
- ・先進国では、小売、外食、家庭などで発生する。



2014

21

日本の食品廃棄物と食品ロス

家庭系食品廃棄物: 1,072万トン

このうち、200~400万トンは、「食べられる」
食べ残し、過剰除去、直接廃棄

事業系食品廃棄物: 1,713万トン

このうち、300~400万トンは、「食べられる」
規格外品、返品、売れ残り、食べ残し

2014/02/06

©NPO法人ごみじゃぼん

22

日本の食品ロスの大きさ

日本の食品ロス500～800万トン

- ・世界全体の食料援助量 400万トン(2011)
- ・日本の米生産量 850万トン(2012)
- ・ナミビア、リベリア、コンゴ共和国の国内向け供給 600万トン(2009)

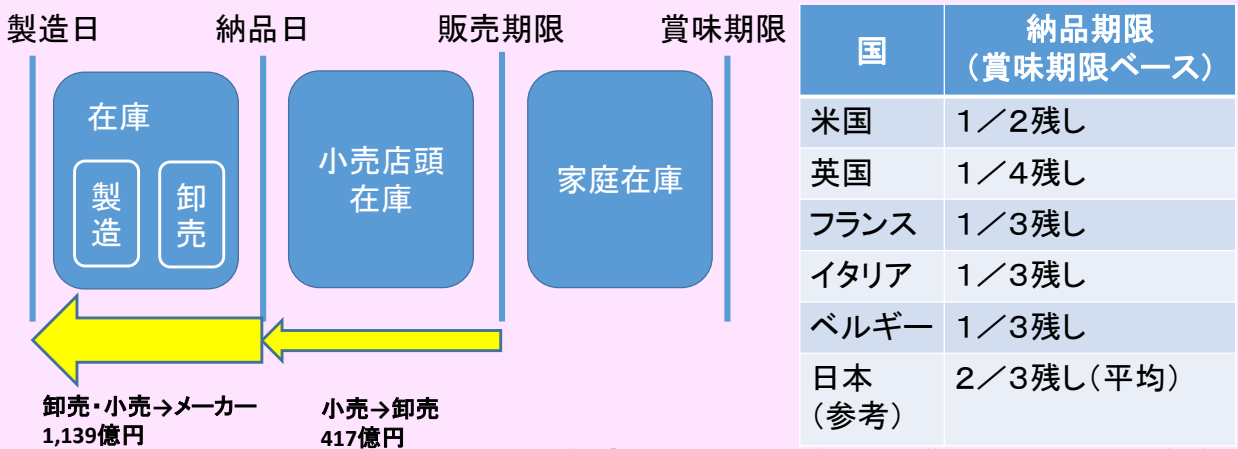
農林水産省(2003年9月)

2014/02/06

©NPO法人ごみじゃぼん

23

賞味期限・消費期限内の食品が捨てられる いわゆる3分の1ルールとは？

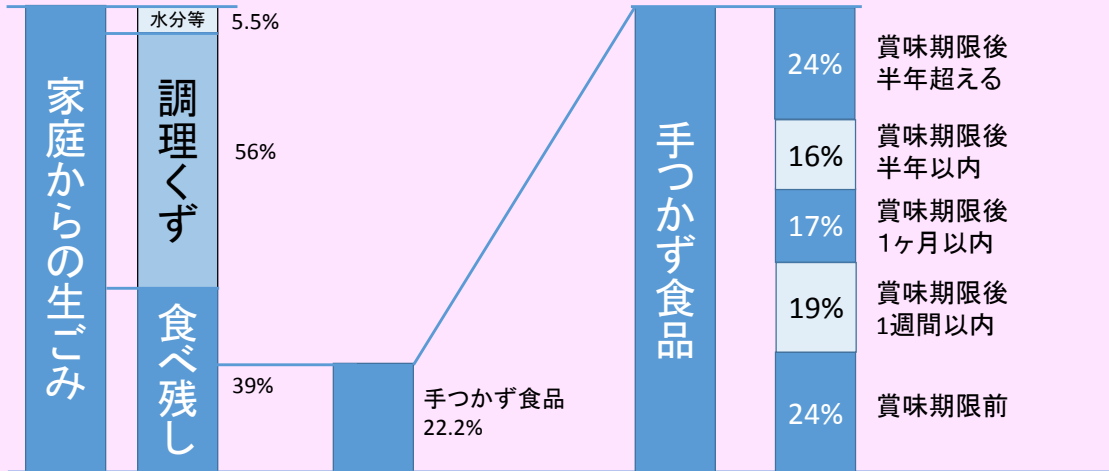


2014/02/06

資料:「加工食品・日用雑貨業界全体の返品額推計(2010年度)」(財)流通経済研究所
©NPO法人ごみじゃぼん

24

家庭での食品ロス



2014/02/06

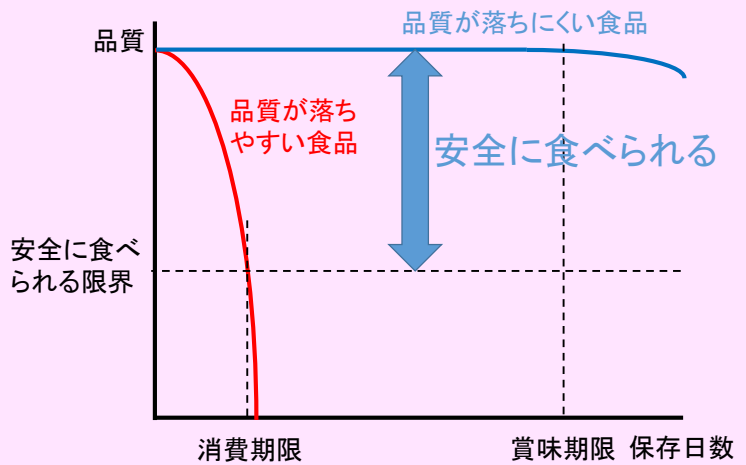
©NPO法人ごみじゃぼん

25

賞味期限と消費期限

賞味期限
美味しく食べることができる期限

消費期限
期限を過ぎたら食べない方がよい



2014/02/06

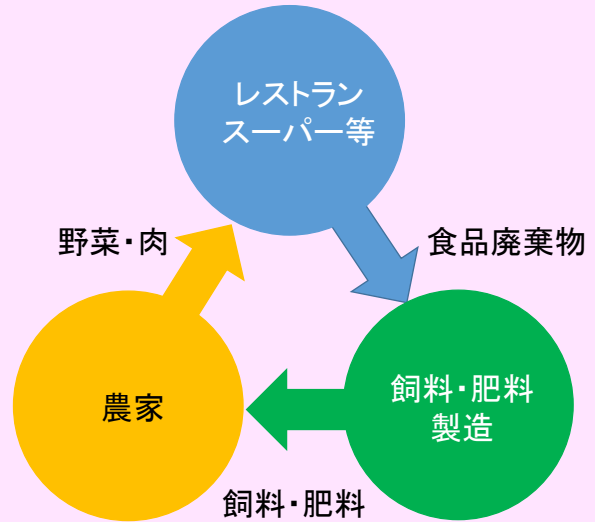
©NPO法人ごみじゃぼん

26

食品リサイクルループ

食品を扱う、小売店、レストラン等の事業者が自ら排出した食品廃棄物から作った肥料・飼料を使って生産された野菜・肉などを販売する。

排出事業者、再資源化事業者、生産者が協定を結ぶ。



2014/02/06

©NPO法人ごみじゃぼん

27

消費者にできること

1. 自分で判断しましょう

賞味期限が過ぎてもすぐに食べられなくなるわけではないことを理解して、食べられるかどうか判断する。

2. 工夫しましょう

調理方法や献立を工夫して無駄を減らしましょう

3. 応援しましょう

食品リサイクルループや減装ショッピングなどに取り組む事業者を応援する。

4. 選びましょう

容器包装の少ない商品を選びましょう。

2014/02/06

©NPO法人ごみじゃぼん

28

ご清聴ありがとうございました。